

平成23年5月24日

各 位

会社名 株式会社ネクストジャパンホールディングス
代表者名 代表取締役社長 齊藤 慶
(コード番号 2409 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 沖 聡
TEL 03-5695-0091 (代表)

アドアーズ株式会社の第三者割当増資引き受けに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、アドアーズ株式会社が実施する第三者割当増資を、アドアーズ株式会社が平成23年6月27日に開催予定の第44回定時株主総会において第三者割当増資による新株式発行に関する議案が承認可決されることを条件として当該増資を引き受けることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、当社が本第三者割当増資を引き受けることにより、当社はアドアーズ株式会社の筆頭株主となります。

記

1. 第三者割当増資引き受けの経緯と理由

当社が属するアミューズメント業界は、日本の経済成長に伴い学生や若手サラリーマンを含めた若年層の旺盛な消費意欲に支えられ成長を続けておりましたが、昨今の個人消費意欲の減退や消費行動の多様化により業界全体の収益が低迷する中、業界全体の淘汰・再編の流れが益々本格化し、中小事業者を含め企業間の競争が激化する様相を呈しております。

こうした背景の中、当社では、創業時の業態である郊外型大規模立地の時間課金複合レジャー施設の運営に加え、都心駅前立地のクレーンゲーム機を中心とした小規模店舗の運営事業を展開すると同時に、アミューズメント景品の販売事業も既述の既存事業に並ぶもう一つの事業基盤の柱へ据え、さらには東京都内を中心に80店舗以上のアミューズメント施設を展開するアドアーズ株式会社(以下、「アドアーズ社」と)と平成21年5月に資本・業務提携を行い、同業界での優位な地位を確立しようとシナジー創出のため協業体制の構築に励んでまいりました。

また、アドアーズ社とは一昨年5月の資本・業務提携の締結を境に、さらなる提携の強化、その後の出資比率の変更を行い、現在では当社がアドアーズ社の発行済株式の23.8%を所有するまでに至り、一層の協業体制と信頼関係の構築を進めております。

そういった中、今般アドアーズ社では平成23年3月期の決算において、主力のアミューズメント事業でのお客様単価の伸び悩みや設計・施工事業の受注競争の激化による収益力の低下に加え、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による未曾有の震災によって一層の個人消費の自粛による業績への影響などを受け、収益体質への転換を含めた抜本的な経営改革の必要性から大幅な特別損失を計上することとなりました。同社では、平成24年3月期での業績回復を大前提に掲げ経営改革に着手してはいるものの、この度の大幅損失の計上により、現在、同社既借入であるシンジケートローンにおける財務制限条項に抵触することが確定的となり、取引先金融機関からはシンジケートローンの早期償還を回避するための収益改善に加え、株主からの支援による財務体質の健全化が強く求められることとなりました。そのため、取引先金融機関との信頼回復に向け早急な財務基盤構築が必要不可欠となりましたが、同社内で以前より検討を重ねていた公募増資や株主割当増資などの資本増強策は同社の状況と昨今の市場環境から鑑み、実現性の乏しい施策であると見るなか、速やかな資本増強を可能とする第三者割当増資での財務改善が最善の手段であるとの結論に至り、アドアーズ社からは同社の第2位株主であり、これまで緊密かつ重要なパートナーシップを構築してきた当社へ当該増資引き受けに関する要請がありました。そこで当社では、重要な事業パートナーである同社の要請に対し、当該増資を引き受ける上での当社におけるメリットを前向きに検討いたしました。具体的には、平成23年3月期においてアドアーズ社は事業資産の見直しを行い大幅

な特別損失を計上した結果、今期以降、事業基盤が改善され早期の業績回復が期待できること、今後もアドアーズ社の首都圏80店舗以上ある店舗におけるアミューズメント景品における購買力と景品業界への影響力、また若者からシニア層まで幅広い顧客層からの豊富な情報量や駅前立地の優位性など、同社の保有する様々な経営資源が当社グループの既存事業に最大限活用できること、さらには、先般のアドアーズ社公表の株式会社ゲオとの業務提携に関しても、今後あらたなシナジー効果が大きく期待できるなど、アドアーズ社との一層の関係深化が当社業績に与える影響は引き続き極めて大きいと考えられ、今回の増資要請が今後においても同社とのシナジーを最大化することができる絶好の機会であると捉え、この度の増資引き受けは当社が将来にわたり持続的に成長し企業価値を向上させるに非常に有効であると確信いたしました。つきましては、当社主導にてさらなる協業を実施していくために当社が同社の筆頭株主となること、また当社人員を同社の役員などへの重要ポストへ就任することなどを条件に当該増資を引き受け、アドアーズ社に対し財政面から協力して行くことを決定いたしました。以上のことより、本件は当社の既存株主にとっても、今後にわたり有益な決定であると認識しております。

なお、当該増資による発行株式引受後の当社の保有比率は33.0%（同社発行済株式総数に対する割合）となる予定です。従いまして、当社は、当該増資の引き受けを以ってアドアーズ社の筆頭株主となり長期保有の姿勢で同社を支援してまいり所存です。

また、本日開示の「当社取締役の兼務状況に関するお知らせ」にありますように、当社取締役会長である藤澤信義が同社の代表取締役に就任しております。藤澤は平成21年10月の当社代表取締役就任以来、抜本的な経営改革による当社再建を自ら先導し、連続業績赤字からの脱却に大きく貢献いたしました。その経営手腕をアドアーズ社でも発揮することを期待され、昨年6月より同社取締役にはあったものの、改めて同社の早急な経営改革の陣頭指揮をとるべく、この度の就任となりました。さらに、2名の当社取締役が同社の定時株主総会の承認を経た後、同社取締役就任を予定しております。

これにより、アドアーズ社との資本・業務提携の締結以来、随時、関係構築などは深化させてまいりましたが、さらに一段踏み込んでアドアーズ社の経営に関与し、双方が同じ目線でシナジー創出を強化していくことのできる経営体制となったと認識しております。

また、当該増資の引き受けに関する必要資金は、平成21年11月18日に発表しております日本振興銀行株式会社から借り入れた資金を充当いたします。アドアーズ社では、当該増資により取得した資金は全額を金融機関からの借入金の返済に充当する予定であります。当社では、有利子負債の圧縮による同社財務基盤の健全化の必要性からその資金使途についても理解しております。

なお、現在の同社筆頭株主であるGF投資ファンド投資事業有限責任組合と当社は良好な関係を構築している中、同組合は本件に関しても理解を示しており、これまでと同様今後とも共にアドアーズ社の主要株主としてアドアーズ社を長期のスタンスで支援していく方針であります。

注1. 当該増資の引き受けは、平成23年6月27日開催予定のアドアーズ社第44回定時株主総会の承認可決を条件として実行される予定です。

注2. 当社取締役会長でありアドアーズ社社外取締役である藤澤信義および当社社外取締役でありアドアーズ社代表取締役社長である中川健男の両名は当議案に対し特別利害関係人であるため、本決議には参加いたしておりません。

2. アドアーズ株式会社の概要（平成23年3月31日現在）

①商号	アドアーズ株式会社（JASDAQ：4712）	
②本店所在地	東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3	
③設立年月日	昭和42年12月25日	
④事業内容	アミューズメント施設の運営・企画・開発・設計・施工・管理等	
⑤資本金の額	40億円	
⑥従業員数	377名	
⑦大株主の状況	氏名または名称	持株比率
	GF投資ファンド投資事業有限責任組合	37.42%
	株式会社ネクストジャパンホールディングス	23.78%

	鈴木 昭作		3.73%
	株式会社スクエア・エニックス・ホールディングス		3.12%
	星 久		1.50%
⑧最近の経営成績及び財政状態 (単位：百万円)			
	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	27,500	26,034	25,945
経常利益	645	637	74
当期純利益	353	270	△4,197
純資産	10,713	12,177	7,591
総資産	32,040	33,304	24,629
1株当たり純資産(円)	237.17	230.77	71.94
⑨当事会社間の関係等	資本関係	当社はアドアーズ社の普通株式26,054,000株（議決権数に占める割合で23.8%）を保有、また同社は当社の発行済株式44,700株（議決権数に占める割合で9.9%）を保有しております。	
	人的関係	当社取締役会長が平成22年6月よりアドアーズ社の社外取締役就任した後、平成23年5月24日付「当社取締役の兼務状況に関するお知らせ」のとおり、同日にてアドアーズ社代表取締役会長へ就任（兼任）しております。また当社取締役2名についても、平成23年6月27日開催のアドアーズ社定時株主総会の承認を前提に同社取締役に内定（当社取締役と兼任）しております。一方、平成21年10月よりアドアーズ社取締役社長が当社の社外取締役として、それぞれ就任しております。	
	取引関係	当社子会社の株式会社ブレイクよりアドアーズ社へプライズ景品の販売を行っているほか、アドアーズ社物流の共同使用を行っております。	
	関連当事者への該当状況	アドアーズ社は当社の持分法適用会社となっております。	

3. 取得価額の算定根拠について

発行価額につきましては、平成23年4月20日から平成23年5月23日までの約1ヵ月間の株式会社大阪証券取引所ジャスダック市場におけるアドアーズ社株式の終値の平均価格である1株54円といたしました。

発行価額として上述の約1ヵ月間の株式会社大阪証券取引所ジャスダック市場におけるアドアーズ社株式の終値の平均価格を採用した理由としましては、平成23年3月11日に発生した震災の影響を受けた株式市況の急落以降、同社は適時開示として、①平成23年4月19日付・平成23年度3月期業績予想の下方修正、②平成23年4月26日付・カプセル自販機に関する業務委託についてのお知らせ、③平成23年5月12日付・平成23年3月期決算短信を公表しており、同年4月19日の下方修正翌日である平成23年4月20日から本開示日の前日である平成23年5月23日までの約1ヵ月間のアドアーズ社株式の終値の平均価格を採用することは、株価へ影響する事象として同社が公表した適時開示が反映されたものであり、特定の一時点を基準とするのではなく、一定期間の平均値とすることで株価が平準化され、一時的な株価変動の影響等の特殊要因や恣意性を排除でき、発行価額の算定根拠として合理的であると判断したためです。

この根拠を用いて算出したこの度の発行価額である54円については、本開示日の前日の同社株式の終値53円（小数点以下切捨・プレミアム率1.88）、株式市況が震災の影響を受けた平成23年3月14日～平成23年5月23日の約2ヵ月間の同社株式の終値の平均株価56円（小数点以下切捨・ディスカウント率3.57）に対してはほぼ同水準であり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠する乖離率であることから、特に当社にとって不利な発行価額ではないと認識しております。

なお、3ヵ月間の終値の平均価格や6ヵ月間の終値の平均価格との比較については同社の平成23年3月

期の大幅な純損失の転落や平成23年3月11日に発生した震災の影響が無い時期を加味した平均株価であり、現在のアドアーズ社株式の適正価格の算出には合理性が欠けるものと判断しております。

4. 取得株式に対する当社の保有方針について

当社は、これまでアドアーズ社の第2位の主要株主であり安定株主として同社株式の長期保有を基本方針としており、平成21年5月の資本・業務提携の締結以来、株式の相互保有により協業を円滑に進め強固なパートナーシップを構築してまいりました。今後においても、本第三者割当増資の引き受けにより同社の筆頭株主となることで変わらず安定した株主としての立場をとりながら、さらなる協業体制の構築を推し進め、双方の強みを最大限活かしたシナジーの創出を目指します。同時に、これまでも増して強いパートナーシップの下、共にアミューズメント業界での優位性の確立に努めます。

5. 第三者割当増資引き受けの概要

当社は今回、アドアーズ社が実施する第三者割当増資の全てを引き受けます。

- (1) 普通株式 15,000,000株
- (2) 発行価額 1株につき金54円
- (3) 当社引受価額の総額 810,000,000円

(ご参考)

	所有株式数	発行済株式総数における 所有割合
引受前	26,054,000株	23.8%
引受後	41,054,000株	33.0%

6. 日程

- 平成23年5月24日 当社決議
- 平成23年6月9日 株式引受契約締結(予定)
- 平成23年6月27日 アドアーズ社第44回定時株主総会開催(予定)
- 平成23年6月28日 払込期日(予定)

7. 今後の見通し

当社のアドアーズ社株式持分比率が変更になることによる当社の当期業績への影響がありますので、判明次第開示基準に則りお知らせいたします。

以上